



シンポジウム

木の国 につぼん を考える

タイムスケジュール

2016年7月7日 13:00~16:30

- ◆13:00 開 場
総合司会 小幡 健太郎 (アストマックス株式会社 常務取締役、日本に健全な森をつくり直す委員会)事務局長補佐)
- ◆13:10 開会挨拶 「“林業再生”は成ったのか?」
天野 礼子 (作家、「日本に健全な森をつくり直す委員会」事務局長)
- ◆13:30 基調講演 「庭(森)は、手入れをするもんだ」
養老 孟司 (東京大学名誉教授、「日本に健全な森をつくり直す委員会」委員長)
- ◆14:00 事例報告I 「私と森と建築と」
隈 研吾 (建築家、東京大学教授、「日本に健全な森をつくり直す委員会」委員)
- ◆14:30 事例報告II 「バイオマス発電とCLT」
中島 浩一郎 (銘建工業株式会社 代表取締役社長、「日本に健全な森をつくり直す委員会」委員)
- ◆15:00 休 憩
- ◆15:10 事例報告III 「壊れない道づくり」
岡橋 清隆 (清光林業株式会社 相談役)
- ◆15:30 事例報告IV 「化学物質に頼らない家具づくり」
河名 秀郎 (ナチュラル・ハーモニー代表、「日本に健全な森をつくり直す委員会」委員)
- ◆15:50 対 談 「“木の国につぼん”の森のランドデザインを考える」
酒井 秀夫 (東京大学大学院教授、「日本に健全な森をつくり直す委員会」委員)
竹内 典之 (京都大学名誉教授、「日本に健全な森をつくり直す委員会」委員)

お申込み方法

メールアドレス info@kenzen-mori.org
「シンポジウム入場希望」とお書きの上、お名前、ご住所を明記いただき、左記アドレス宛お申込みください。(先着250名様、参加費:資料代500円)

NPO法人 日本に健全な森をつくり直す委員会
http://www.kenzen-mori.org

出演者プロフィール



養老 孟司
ようろう たけし

●解剖学者 東京大学名誉教授
1937年鎌倉市生まれ。解剖学者としての顔だけではなく、思想・哲学・自然科学・社会評論など幅広い分野で執筆や講演活動などを行っている。また、趣味の昆虫採集は有名。2009年「日本に健全な森をつくり直す委員会」委員長として、政府へ第一次提言書を提出。東日本大震災後も第二次提言書「森林(もり)と自然エネルギーに生かされて生きる日本になるために」を政府に提出。著書にベストセラー「パカの壁」(新潮新書)「正義で地球は救えない」(共著・新潮社)「庭は手入れをするもんだ」(共著・中央公論新社)「自分の壁」(新潮新書)など多数。



隈 研吾
くま けんこ

●建築家 東京大学教授
1954年横浜市生まれ。東京大学建築学大学院修了。1997年「森舞台/登米町伝統芸能伝承館」で日本建築学会賞受賞。同年「水/ガラス」でアメリカ建築家協会ベネディクタス賞受賞。2002年「那賀川町馬頭広重美術館」をはじめとする木の建築でフィンランドよりスピリット・オブ・ネイチャー国際木の建築賞受賞。2010年「根津美術館」で毎日芸術賞受賞。著書に「自然な建築」(岩波新書)「負ける建築」(岩波新書)「新・都市論TOKYO」(集英社)。



竹内 典之
たけうち みちゆき

●京都大学名誉教授
1944年京都市生まれ。京都大学農学研究科理学専攻修了。農学博士。京都大学において各地の演習林(現・研究林)に勤務、明るく豊かな人工林づくりを目指してきた。2003年「森海連環学」を提唱し、新設のワールド科学教育研究センター、副センター長に就任した。退任後も、東北大震災で大きな影響を受けた宮城県の森をはじめ、日本各地の劣化が著しい人工林・二次林の再生・管理に手を貸している。主な著書に「木造都市の設計技術」(共著・コロナ社)。



酒井 秀夫
さかい ひでお

●東京大学大学院教授
1952年茨城県生まれ。東京大学農学部林学科卒業。同大学院農学研究科理学専門課程博士課程中退。農学博士。持続的森林経営における森林作業を柱に、森林機械化作業における最適作業システム、森林の空間利用のための基盤整備、水土保全を考慮した間伐作業システムの構築、里山における森林バイオマス資源の収穫利用をテーマに研究を展開。著書に「作業道一理論と環境保全機能-」(作業道セミナー)「道づくり技術の実践ルール」(以上、全国林業改良普及協会)ほか多数。



岡橋 清隆
おかはし きよたか

●清光林業株式会社 相談役
1952年奈良県生まれ。岡橋家第17代当主の兄・清元(きよちか)と共に吉野林業地、900ヘクタールの“山持ち”の子息であるが、自分達で道をつけることを大橋慶三郎氏より学び、作業道づくりの実績を積み、急傾斜の伝説ある吉野林業地で最新の山林経営を行ってきた。林野庁の「1000人の中級オペレーターづくり」の上級講師を務めたのち、近年は、奈良県東吉野村中黒地区で「奈良型作業道」の研修を、全国から来る自ら望む人々に向けて行っている。



中島 浩一郎
なかしま こういちろう

●銘建工業株式会社 代表取締役社長
1952年岡山県生まれ。横浜市立大卒業。銘建工業に入社。2004年より現職。家業の製材業を、集成材の国内最大手メーカーに育て上げた。早くから製材で出る廃材(樹皮や木片)を燃やして発電し、工場の動力源として活用し、余剰分は電力会社に売電していた。2013年に真庭バイオマス発電株式会社の代表取締役に就任。2015年4月には、地域と協働で建設した1万キロワットの発電所が稼働した。また、新しい木質構造材であるCLT (cross laminated timber)の国内での技術開発・普及にも取り組んでいる。



天野 礼子
あまの れいこ

●作家
1953年京都市生まれ。中・高・大学を同志社で過ごす。19歳で釣りを始め、国内外の川・湖・海を釣り歩く。26歳より作家・開高健に師事、釣り竿を持たずに世界の湖沼をめぐり、釣りを離れた執筆活動始める。1988年、長良川河口堰が着工されると、師と「反対する会」を立ち上げ、国民的運動を展開した。



河名 秀郎
かわなし ひでお

●ナチュラル・ハーモニー代表
1958年東京都生まれ。15歳で姉の死に直面し、医療の無力さと健康の大切さを痛感する。大学卒業後、一度は就職するものの、大自然とより調和する生き方を求めて1年間自然栽培農家に住み込み、農業修行をする。1986年東京の世田谷区に3坪ほどの八百屋を開店し、ナチュラル・ハーモニーを設立。1991年、青山にレストランを持つ。2000年には横浜市青葉区に衣食住の総合的なライフスタイルのお店「インターナショナルガーデン・プランツ」を開店。2005年にはナチュラルライフスタイルの学校「ナチュラル&ハーモニックスクール」を立ち上げ、全国各地を廻り、多忙な日々を送っている。著書に「自然の野菜は腐らない」(朝日出版社)「本当の野菜は緑が薄い」(日経プレミアシリーズ)「野菜の裏側」(朝日出版社)など。